

3
年
国
語
③

授業の約束

• 書いてある内容をじっくり考えるときや、問題を考えるときは、一時停止マークをクリックし、内容を理解したり、問題を解いたりしてから、次の画像に進もう。

• 最後のまとめの部分は、国語のノートに写しておこう。(黒板に書いたもの)

文節同士の関係

※「文の成分」を考える際に、文節一つの単位だけで考えるには、無理がある場合があります。次の二つの関係がそれにあたります。

(1) **並立の関係** 二つ(もしくは二つ以上)の文節が、対等の関係で並ぶような文節の関係を「**並立の関係**」といいます。

彼は 明るく 元気だ。(述語の部分 ↓ 述部という)

クッキーも チョコ プレートも 食べたい。
(修飾語の部分 ↓ 修飾部という)

※「並立の関係」にある文節は、順番を変えても文の意味は変わりません。

- 彼は 元気で 明るい。
- チョコ プレートも クッキーも 食べたい。

問題を解いてみましょう。

1 次の各文から、並立の関係になっている文節を
見つけて、傍線を付けましょう。

① 山田君も 木村さんも 賛成した。

② 妹は すぐ 怒ったり 泣いたり する。

③ 国語も 数学も 英語も 苦手だ。



※ 「並立の関係」にある文節は、順番を変えても
文の意味は変わりません。

答えは……

① 山田君も 木村さんも 賛成した。

② 妹は すぐ怒ったり 泣いたり する。

③ 国語も 数学も 英語も 苦手だ。……となります。

(2) 補助の関係

本来の意味が薄れ、上の文節に軽い意味を添えるだけになっている文節を「補助語」と言い、この二つの文節の関係を「補助の関係」と言います。

・ 姉は本を 読んで いる。

補助の関係

補助語

・ せっかくの チャンスを 逃して しまった。

補助の関係

補助語

※ 「補助の関係」にある上の文節の終わりは「…て、…で」の形をとることが多い。

※ 「補助語」は ひらがな で書かれることが多い。

ここに
注目!

問題を解いてみましょう。

1 次の各文から、補助語を見つけて、棒線を付けなさい。

- ① 久しぶりに逆上がりをしてみる。
- ② 兄は勉強を教えてくださいました。
- ③ 大切にしまっておいた宝物がある。



ヒント

※聞かれているのは「補助語」です。

答えは……

① 久しぶりに逆上がりをしてみる。

② 兄は勉強を教えてくれました。

③ 大切にしまっておいた 宝物がある。

……となります。

※ 「補助の関係」ではなく、「**補助語**」を聞かれて
いるので、答え方に気を付けましょう。

※ ③は間違いやすい問題です。「ある」に線を引いた人はいませんか。「宝物が」「ある」は「主語・述語の関係」です。したがって、「ある」は補助語ではありません。

◎ **連文節** 「並立の関係」や「補助の関係」のように、
二つ以上の文節が結びついて、ひとまとまり
になっている部分を**連文節**といいます。その
場合の文の成分はそれぞれ、**主部**・**述部**・
修飾部・**接続部**・**独立部**と呼びます。

・ 自動販売機からジュースが**出てくる**。(述部)

・ **トマト**と**ナス**、それは夏の代表的な野菜だ。
(独立部)

文節に関する**全国**の**高校**入試問題を解いてみましょう。

1 次の文を、文節に分けたものをあとから一つ選び、
記号で答えなさい。(三重県) ()

*あきれたようにわたしのことを見ていた。

ア あきれたようにわたしのことを見ていた。

イ あきれたようにわたしのことを見ていた。

ウ あきれたようにわたしのことを見ていた。

エ あきれたようにわたしのことを見ていた。

2 次の文を文節で分けたとき、いくつに分かれますか。

漢数字で答えなさい。(島根県) ()

あきら まの

*明良はそんな真野をじっと見つめた。

3 次の言葉はいくつの文節からできていますか。漢数字
で答えなさい。(山口県) ()

*面白い勝負ができるというものです。

4 次の文は十二の単語に分けられます。上から八番目の
単語を抜き出さない。(岡山県) ()

*彼女は歩いている兄に大きく手を振った。

***次のページも続きます。**

5 次の棒線部「考えて」と「みたい」の関係をあとから一つ選び、記号で答えなさい。

*言語を可能にしている認知・心理的基盤について考えて みたい。() (青森県)

ア 主語・述語の関係 イ 修飾・被修飾の関係
ウ 並立の関係 エ 補助の関係

6 次の棒線部が修飾している一文節をあとから一つ選び、記号で答えなさい。(愛媛県)

*素読は、経書をまるごと、からだに取り込む学習だから、私は「テキストの身体化」と呼ぶ。()

ア からだに イ 取り込む
ウ 学習だから エ 呼ぶ

7 次のア～エから、文の係り受けが正しいもの(↓主語と述語などの関係が合っており、文章として正しいもの)を一つ選び、記号で答えなさい。()

ア この企画の問題点は、予算内で完成させるのが難しい。
イ 満腹だった私は、デザートを兄に頼んで食べてくれた。
ウ 雨の日には、私は図書館で読書をするにしている。
エ 私の夢は、オリンピックに出場してメダルをとりたい。

答えは……

- 1 次の文を文節に分けたものをあとから一つ選び、記号で答えなさい。(三重県) () **イ** ()
- 2 次の文を文節で分けたとき、いくつに分かれま
すか。漢数字で答えなさい。 () **五** ()
- 3 次の言葉はいくつの文節からできていますか。
漢数字で答えなさい。(山口県) () **五** ()
- 4 次の文は十二の単語に分けられます。上から八番目の
単語を抜き出さない。 () **大きく** ()
- 5 次の棒線部「考えて」と「みたい」の関係をあとから
一つ選び、記号で答えなさい。(青森県) () **エ** ()
- 6 次の棒線部が修飾している一文節をあとから一つ選
び、記号で答えなさい。(愛媛県) () **イ** ()
- 7 次のア～エから、文の係り受けが正しいもの(↓主語
と述語などの関係が合っており、文章として正しいも
の)を一つ選び、記号で答えなさい。 () **ウ** ()

……となります。

*次のページの内容を国語のノートに写しましょう。

*次回は、「用言」について学習します。

*今回の範囲は、「文法ノート」のP20～P21の内容になります。今までの復習も含め、P22～P27まで学習しておきましょう。

「文節同士の関係」

(1) **並立の関係** 二つ（もしくは二つ以上）の文節

が、対等の関係で並ぶような文節の関係を「**並立の関係**」という。

・彼は 明るく 元気だ。

※「並立の関係」にある文節は、**順番を変えても文の意味は変わらない。**

(2) **補助の関係** 本来の意味が薄れ、上の文節に軽い意

味を添えるだけになっている文節を「**補助語**」
と言い、この二つの文節の関係を「**補助の関
係**」という。

・姉は 本を 読んで いる。

※「補助の関係」にある上の文節の終わりは、

「…て、…で」の形をとることが多い。

※「**補助語**」はひらがなで書かれることが多い。

◎ **連文節** 「並立の関係」や「補助の関係」のように、

二つ以上の文節が結びついて、ひとまとまりになっ
ている部分を**連文節**という。その場合の文の成分はそれ
ぞれ、**主部・述部・修飾部・接続部・独立部**と呼ぶ。

